

## 第4編 生涯学習

### 第1章 生涯学習の拠点整備

#### 第1節 群馬県立図書館

##### 1 概 況

群馬県立図書館は、情報化、高齢化の進展など急激な社会変化の中で、県民の多様な学習要求に対応した生涯学習を支援するため、社会教育施設の中核として、県民の期待に応え得る図書館づくりに努めてきた。

本年度は、調査相談機能の充実を図るとともに、調査研究のための専門的な資料や調査に役立つ資料のほか、群馬県に関する資料や県内公共図書館・学校図書館を支援するための資料を重点的に収集することにより、専門的資料の充実に努めた。

また、情報の集積と発信を行うため、多様な主体と様々な連携事業（企画展示等）を実施した。

さらに、「群馬県子ども読書活動推進計画（第三次）」の推進を図るため、子どもの読書活動推進のための各事業に積極的に取り組んだ。

##### 2 図書資料の整備状況

###### (1) 図書館資料保有状況（平成28年度末）

###### ア 図書

本館用（館内）図書	761,537冊
町村一括貸出用図書	15,099冊
団体貸出文庫用図書	37,163冊
計	813,799冊

###### イ 雑誌・新聞の受入

一般雑誌	2,115タイトル
郷土雑誌	1,668タイトル
新聞	124タイトル
計	3,907タイトル

###### ウ 視聴覚資料

合計	CD	カセット テープ	レコード	ビデオ テープ	DVD	LD
48,645	26,756	94	13,894	5,397	2,322	182

###### エ 新聞等マイクロフィルム（CD-ROM含む）

9,228巻

###### (2) 特別文庫

高橋文庫	7,623冊
中島文庫	14,192冊
住谷文庫	19,564冊
小野寺文庫	5,497冊
根岸文庫	5,228冊

###### (3) 県立図書館情報提供システム

###### ア オンラインネットワーク接続状況（平成29年5月31日現在）

データ提供館	68館
検索のみの参加館	92館

イ データ入力状況（平成29年4月26日現在） (件)

一般図書	郷土資料	雑 誌	視聴覚資料	合 計	登録書誌数
737,705	112,775	316,755	54,178	1,221,413	2,621,487

### 3 利用の状況

館全体の資料等利用状況

入館者数	244,501人
登録者数（本館）	129,999人
うち新規登録者数（本館）	3,139人
レファレンス件数	20,331件
インターネットホームページアクセス件数	366,968件
貸出人数（本館）	66,652人
個人貸出冊（点）数（本館）	303,255冊（点）
相互貸借冊（点）数	13,002冊（点）
開館日数	276日

### 4 事業概要

#### (1) 子ども読書活動推進事業

##### ア 図書館こどもまつり

ぐんまこどもの国と連携した「科学工作」や、生涯学習センターと連携した「サイエンスショー」、読み聞かせなどのイベントを3日間開催。参加人員は延べ213人であった。

##### イ 学校図書館関係者実務研修会

学校司書等に対する学校図書館運営実務に係る研修を2回（6月28日・11月25日）開催した。参加人員は延べ148人であった。

##### ウ 学校図書館図書支援1000冊プラン

指定地域5町村の学校図書館に、計3,240冊を貸し出した。

##### エ 学習支援・朝の読書推進図書セット貸出

- ・学習支援図書セットとして、202セット5,455冊を延べ56団体に貸し出した。
- ・朝の読書推進図書セットとして、年2回、計12,000冊を25校に貸し出した。

##### オ 第1回全国高等学校ビブリオバトル2016群馬県大会

県内9地区から選出された高校生によるビブリオバトルを開催。

参加人数は125人であった。

チャンプ本（優勝者）は全国大会へ出場。

#### (2) 各種主催・共催事業

##### ア 研修事業

図書館司書実務研修（参加人員 209人）

##### イ 企画・実施事業

- (ア) 第14回県図書館大会（参加人員 174人）
- (イ) レコードコンサート（参加人員 98人）
- (ウ) 英語に親しむ会（参加人員 49人）
- (エ) グローバル展開講演会（参加人員 63人）
- (オ) がんサロンin県立図書館（参加人員 29人）
- (カ) 群馬県がん患者ミーティング2017（がんと向き合う作品展）（参加人員 68人）
- (キ) 群馬県がん患者ミーティング2017（参加人員 90人）
- (ク) 働くがん患者サポートセミナー（参加人員 80人）
- (ケ) 自費出版応援講座（参加人員 116人）

#### ウ 資料展示（図書館資料の紹介）

(ア) 常設展示（群馬県立図書館の特別文庫）

(イ) 企画展示

庁内各課事業との連携展示、埋もれた資料に光をあてる展示等で「見える化」を推進。

- ・「健康寿命を延ばし、元気に暮らす本」（保健予防課と連携）
- ・「ベトナムをもっと知る本」（国際戦略課等と連携）
- ・「がんサポートブックフェア」（保健予防課と連携）
- ・「ふるさとグンマを歩く本」（交通政策課と連携） など

(3) 市町村等支援

ア 図書館未設置町村等図書配送サービス

4コース、11町村（4町7村）

イ 市町村支援協力車による巡回サービス

5コース6ルート51館（高校図書館77館は相互貸借がある時のみ巡回）

ウ ネットワークの推進

- ・相互貸借の推進
- ・Gネット（群馬県内図書館情報ネットワーク）への参加・接続支援

## 5 図書館協議会

協議会を2回開催し、館の運営について幅広い見地から意見をもらい、その実現に取り組んだ。

第1回 7月26日

第2回 2月8日

## 第2節 群馬県生涯学習センター

### 1 概 況

本県の生涯学習推進の中核的施設として、市町村及び関係機関・団体との広域的連携を図りながら、県民の多様な学習ニーズや社会の要請に応えるとともに、少年科学館や視聴覚センターを併設する多機能なメリットを生かし、子どもを含めたあらゆる世代の県民の学習活動を支援するため、次の4事項を重点として事業を実施した。

- (1) 生涯学習環境の整備
- (2) 社会の要請への対応
- (3) 少年科学教育の推進
- (4) 施設の活用促進

### 2 事業の概要

(1) 生涯学習環境の整備

ア 学習支援体制の整備・充実

(ア) ぐんま県民カレッジ運営

市町村等と連携した広域的な学習機会提供体制を運営し、県民の多様な学習需要に応えた。

入学登録者数 新規：1,010人、累計：9,224人

連携機関数 535機関

○ぐんま県民カレッジのつどい（1月28日、参加者：241人）

- ・奨励賞（妙義賞13人、榛名賞5人、赤城賞4人）の授与（累計462人）
- ・記念講演 テーマ：匠としての声優～心を伝える声のコミュニケーション～  
講師：声優 神谷 明 氏

○ぐんま県民カレッジ地域委員会（県内5会場）

(イ) まなびねっとぐんま運営

県民自らが講座情報等の発信ができるなど、利便性が高く、費用対効果の高い本システムの普及・定着に努めた。

アクセス実績 55,662件

(ウ) 学習情報・相談運営

・学習相談室

相談員を配置するとともに、生涯学習関係図書・資料を整備し県民の利用に供した。

相談件数 293件（電話を含む）

・生涯学習図書資料コーナー

関係図書・資料 1,227点（閲覧用雑誌11誌・新刊図書28冊）

・育児学習室

親同士の交流の場を提供するとともに、子育て支援ボランティアによる活動を支援した。

利用者数 8,127人

育児相談実績 156件

イ 調査研究の推進

「生涯学習ぐんま」作成

・特集テーマ：地域課題に対応した社会教育 ～多世代がつながる地域作りに向けて～

ウ 人材育成の推進

(ア) 社会教育指導者養成

○社会教育推進セミナーⅠ・Ⅱ＜移動講座＞（前橋会場・高崎会場・中之条会場・太田会場）

実施期間：4日間 受講者：160人

(イ) 情報教育指導者養成

○視聴覚教育メディア研修カリキュラムA（視聴覚教育の基礎的な知識と技能の習得を図る研修）

実施期間：2日間 受講者：26人

○視聴覚教育メディア研修カリキュラムB（本県視聴覚教育の中核的な指導者養成研修）

実施期間：3日間 受講者：16人

(ウ) 社会教育実習生受入指導及びインターンシップ支援事業受入指導等

○実施期間：9月1日～5日

インターンシップ生（4名）を受入指導

○実施期間：9月29日～9月30日及び11月10日～11月12日

高校生短期就業体験（8名）を受入指導

エ ICT活用の推進

(ア) 県視聴覚センター管理・運営

視聴覚機材・資料を整備し、県民、教育機関等へ貸し出しを行った。

貸出実績 視聴覚教材2,896点、視聴覚機器603件

新規購入 DVD8作品

(イ) 情報教育指導者養成（再掲）

(ウ) 県視聴覚ライブラリー連絡協議会運営

・加盟団体数 15機関

・総会・教育関係者部会（5月25日）開催

・視聴覚教育メディア研修カリキュラムA（本県視聴覚教育の初級指導者養成研修）

（再掲）

・平成28年度（第42回）県自作視聴覚ソフトコンクール実施

「ビデオ・動画部門」

応募点数：19点 教育長賞（最優秀賞）1点、優秀賞2点、入選4点

## (2) 社会の要請への対応

### ア 家庭教育・子育て支援

#### (ア) 家庭教育電話相談「よい子のダイヤル」

相談員25人（医師等特別4人、一般21人）を配置し電話により相談に対応するとともに、代表的な事例の周知を図った。

- ・相談日時 毎週火～土曜日（10：30～18：30）
- ・年間相談件数 1,527件
- ・地元紙に相談事例を掲載（月1回）
- ・相談員研修会（2回）
- ・相談事例集作成・配布

#### (イ) 家庭教育指導者養成

- ・家庭教育カウンセリング専門講座  
実施期間：4日間  
受講者（公開講座のみ）：①91人 ②87人 ③96人  
受講者（公開講座及びカウンセリング実習）：46名
- ・子育て支援応援フォーラム  
実施期間：1日 受講者：48人
- ・子育て支援のための幼児安全セミナー  
実施期間：1日 受講者：45人

### イ 現代的課題に対応する学習支援

#### (ア) 課題解決支援

社会の変化に適切に対応できる自立した個人や新しい地域社会の形成者として、「社会の要請」としての現代的課題の解決に向けて、必要な能力の向上を図り行動する生涯学習活動を支援するための講座を実施した。

- ・支援講座Ⅰ【若者の発想を生かしたまちづくり編】  
実施期間：3日間、受講者：①34人 ②25人 ③15人
- ・支援講座Ⅱ【防災編】  
実施期間：1日間、受講者：①26人

## (3) 少年科学教育の推進

### ア 少年科学館の運営

#### (ア) 科学展示室運営

- ・展示物35点
- ・科学関係図書等を備えた「しらべコーナー」及び「実験コーナー」を運営  
実験コーナー 日・祝休日（14：00～15：00） 参加者：3,937人  
サイエンスショー 土曜日（14：30～15：00） 参加者：1,384人  
サイエンスボランティアコーナー 土日祝（12：30～13：30） 参加者：332人

#### (イ) プラネタリウム運営

客席200席。6月までは光学式プラネタリウムで春番組を投影。7月からデジタル式プラネタリウムに更新。その後、通年のテーマ番組1本、季節ごとのテーマ番組8本、季節ごとの星座解説番組4本投影（夏期・秋期・冬期・春期）。また、学校の教育活動に対応した「学習投影」を実施。

- ・総観覧者：21,816人
- ・学習投影観覧者：4,209人 利用件数：86校園
- ・天文コーナー「4次元デジタル宇宙」の上映 観覧者：6,404人
- ・子ども宇宙教室（7月24日） 参加者：61人

- ・天体観察会「夏の星めぐり」(8月9日) 参加者:101人
- ・天体観察会「秋の星めぐり」(11月5日) 参加者:30人
- ・天体観察会「冬から春の星めぐり」(3月4日) 参加者:15人
- ・星空とCD音楽の集い(毎月1~2回、土曜日に実施、7月~9月はプラネタリウム更新のため中止) 9回 参加者:350人
- ・天文ABC「ビッグバン、暗黒物質(ダークマター)、暗黒エネルギー(ダークエナジー)―最新宇宙論入門―」(12月4日) 参加者:11人

(ウ) 科学実験室運営

おもしろ科学教室等を行うとともに、学校の理科等の教育活動を支援した。

- ・一般利用:14,185人
- ・学校利用:小学校:37校2,119人、中学校:3校205人、特別支援他:5校76人

イ 科学教育の充実・普及

(ア) おもしろ科学教室

子どもたちの学校外活動の充実と「科学する心」を育むため、県内関係機関と連携し県内全域で科学実験、野外観察等を実施するとともに、教材集を作成配布した。

- ・実施回数:99回、連携機関:49機関、参加者:4,403人
- ・科学教室運営協力者会議 2回開催
- ・「おもしろ科学教室教材集-27-」(1,200部)の作成・配布

(イ) 学習プログラムの提案・実施

実績 小学校:55校2,976人、中学校:5校422人、高校:6校171人、特別支援:12校143人

(ウ) 夏休みサイエンスウィーク2016

- ・7月22日~7月28日(25日を除く5日間) 参加者:14,631人

ウ 科学教育推進体制の整備・充実

(ア) 学校外活動推進事業

- ・科学教室指導者実技研修会 8月6日 参加者:9人 2月18日 参加者:46人
- ・児童生徒理科研究作品展 7月21日~8月7日 展示作品数:20点
- ・児童生徒理科研究相談会 7月24日 相談件数:17件

(イ) サイエンスインストラクターの会

総会 2月18日 参加者:34人  
科学教室運営協力者会議 4月23日 参加者:16人 10月15日 参加者:6人

(ウ) 県プラネタリウム連絡協議会

県内プラネタリウム9館とぐんま天文台で組織 5回開催(参加者延べ73人)

(エ) 他機関との連携・協力

- ・サイエンスウィーク協力団体:35団体

3 利用状況

(1) 入館者数

		総 数	うち少年科学館			
			プラネタリウム	科学展示室	科学実験室	
入館者数 (人)	28年度	277,489	96,233	21,816	51,452	22,965
	累 計	6,855,546	3,516,304	854,176	2,547,165	114,963

(2) 視聴覚センターの利用件数

	視聴覚教材	視聴覚機器
28年度利用件数(件)	2,896	603

## 第3節 群馬県立ぐんま天文台

### 1 概況

群馬県立ぐんま天文台は、県人口200万人到達記念事業として吾妻郡高山村に建設した、教育普及、観測研究を行う天文台である。

平成11年4月28日にファーストライトを行い一部オープンした後、遊歩道、屋外モニュメント等の完成を待って、同年7月20日に竣工式、翌21日に全面オープンした。

昼間は施設見学、夜は原則として水・木・金曜日を予約団体の天体観望利用日、土・日曜及び祝日を一般向けの天体観望日として広く県民に開放している。

教育普及面では、広く県民を対象とした各種イベントを行ったほか、学校教育に関しては「連携協力校実践事業」「スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）」「サイエンス・パートナーシップ・プログラム（SPP）」にも積極的に取り組んできた。また研究面では、国内外の研究機関・研究者との情報交換や超新星・ガンマ線バースト等の天体現象の初期観測、150cm望遠鏡をはじめとする各種望遠鏡とそれらの各種観測施設装置による本格的研究を行ってきた。

他方、平成20年度に「群馬県公共施設のあり方検討委員会」での検討結果で「直ちに廃止すべきとまでは言えないが、運営内容等の徹底した見直しと利用者増加の積極的な努力が強く求められる施設」とされた。

このことを踏まえ、平成21年度以降の事業展開にあたり、管理運営費の削減と運営体制の見直しを行った。さらに、学校利用の一層の促進や県民の学習施設として、教育普及事業に重点を置いた施設運営を推進するとともに、学校や地域に積極的に出向き、県内における天文学のすそ野拡大を図っている。

平成24年度には、専門家、地域代表、有識者等からなる「県立ぐんま天文台のあり方検討委員会」において、運営方針等について検討し、今後のぐんま天文台の在り方について提言を受けた。この提言を受け、平成25年度「天文学の教育普及に重点を置き、『天文学を通じて学校・地域と協働し、多様な学習機会を提供する教育施設』として、効率的な施設運営と利用者の拡大に努め、県民に親しまれるぐんま天文台として運営する」との新しい運営基本目標並びに「本物の体験」、「開かれた利用」「学校・地域との協働」を柱とした事業基本項目を定め、事業を展開している。

### 2 施設見学・一般観望

天文台は眺望も良いため、日中の施設見学者が50.3%（平成28年度）を占めている。原則として、水・木・金曜日の団体予約利用日は、学校や生涯学習団体等の観望・学習の日として設定し、土・日曜及び祝日は、夜間は予約なしで自由に観望できる一般観望日としている。

### 3 教育・普及活動

#### (1) 学校利用

平成28年度は114校、4,447人の学校等団体利用を支援した。利用する学校側の意識は、単に施設見学をしたり観望したりするだけではなく、明確な学習目的を持って利用する学校が増えてきている。特に高等学校では、専門的な内容を授業に取り入れたり、観測実習を実施したり、科学教育の中での位置づけを意識して利用している傾向が強い。

#### (2) 天文台学校利用見学会の実施

天文台の学校利用を促進するため、北毛青少年自然の家と連携し、同施設主催の学校利用説明会において、同施設利用予定の学校に対し、天文台の活用方法や天文台が提供している学習プログラムの紹介等を行った。さらに、希望する学校に対して、同施設主催の学校利用説明会に合わせ、独自に天文台学校利用見学会を実施し、天文台施設の案内を行った。

4月14日（木）17:00～ 参加者18名

#### (3) 高等学校特別科学教育支援

平成28年度は、SSH支援を県内外4校について8件の高等学校特別科学教育支援を実施した。

また、かつてSSH指定校やSP指定校であったときにぐんま天文台を利用した高校による継続的な利用も数校ある。さらに、県内外の高等学校の科学部・地学部等の活動での利用が多数ある。

(4) 子ども向け事業

天文台職員による県内教育文化施設等での子ども向け出張講演会（子ども宇宙教室）を3回実施した。

(5) 主なイベント

日付	行事内容	参加者数(人数)
4月29日～5月5日	木星を見よう	2,528
5月7日（他3回）	星空さんぽ	830
5月14日（他3回）	携帯カメラやデジカメで月を撮ろう	793
8月11日～16日	火星・土星を見よう	1,885
8月12日	ペルセウス座流星群説明会・観察会	2,442
10月22日	ぐんま天文台秋祭り	679

4 観測研究

(1) 談話会の開催

国内外の研究者を招いて天文学に関する談話会を2回開催した。

5 月別観覧者数（人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1,353	3,540	2,210	3,163	7,400	1,288	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4,161	2,403	1,211	458	552	1,279	29,018

6 年度別観覧者数（人）

平成11-23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	累計
481,051	34,274	34,662	27,976	29,513	29,018	636,494

## 第4節 群馬県立ぐんま昆虫の森

1 概況

群馬県立ぐんま昆虫の森は、昆虫の生きた姿に直接触れ、生きものの相互依存に学び、生命の大切さや自然への理解と共感する心を育てるため、里山として豊かな自然が残されている桐生市新里町（旧勢多郡新里村）不二山地域に整備したものである。

平成14年6月から、雑木林ゾーン及び桑畑ゾーンの2つのゾーンについて一部利用を開始し、昆虫観察館等全ての施設が完成した平成17年8月1日に全面オープンした。

開園後は、雑木林や田畑等45ヘクタールにもおよぶ園内を、生物の棲息空間として維持管理しながら、昆虫の森ガイドや自然観察会、飼育室探検ツアー、ふれあいコーナー、クラフト体験、里山生活体験等さまざまなプログラムを展開し、平成26年度の7月27日に開園以来の入園者が100万人に達した。

平成28年度は、企画展、季節展、虫の絵作品展、フォトコンテスト作品展などの展示会を開催するとともに、新聞雑誌等の取材対応、県内外の各種観光イベントへの展示ブース出展を通じて、ぐんま昆虫の森の広報普及に努めたほか、幼稚園・保育所及び学校関係者を対象に利用説明会を8回開催し、学校行事等としての見学利用の促進を図った。

これまでに、多くの学校関係者が視察し、総合学習や理科の学習の一環として、あるいは遠足等で県内外の小学校、幼稚園・保育所が利用するとともに、ボーイスカウトなどの各種団体や多くの



家族連れなどが来園した。

なお、ぐんま昆虫の森の運営で欠かせないのがボランティアで、登録者114名を数え、自然観察会や昆虫観察会等のガイドとして大きな役割を果たしている。

ぐんま昆虫の森は、平成20年度に「群馬県公共施設のあり方検討委員会」での検討結果で「直ちに廃止すべきとまでは言えないが、運営内容等の徹底した見直しと利用者増加の積極的な努力が強く求められる施設」とされた。

このことを踏まえ、経費全体を抑えながらも昆虫の森の魅力を損なわず有効に活用するため、園全体の運営を見直し、学校教育補完施設と位置づけてフィールドの魅力を高め、様々な学校利用促進策や地元との連携強化による入園者増加策等を展開している。

## 2 教育・普及活動

ぐんま昆虫の森は、身近な自然の中で生きものを見つけて、環境と生きものとの関係を自主的に知るきっかけをつくる場所である。このため、様々な体験プログラムを来園者に提供し、気軽に生きものと出会える機会を提供している。

### (1) 里山歩き・自然観察会

園内の見どころを紹介するほか、季節ごとにかわる生きものたちの様子を詳しく観察するガイドツアーを実施した。

### (2) 里山生活体験

かやぶき民家を中心に、養蚕体験、稲作体験、草木染め等かつての里山生活の体験や昔遊びなどを体験できるプログラムを実施した。

### (3) 飼育室探検ツアー

普段入れない飼育室の様子を見たり、昆虫専門員が生きものの不思議について説明したりする飼育室探検ツアーを実施した。

### (4) クラフト体験

まゆクラフト、どんぐりクラフト、ウッドクラフト等、昆虫の森での産物を使った様々なクラフト体験を実施した。

### (5) 温室ガイド

スタッフのガイドで昆虫ふれあい温室を観察しながら、温室内にチョウを放す体験ツアーを実施した。

### (6) ふれあいコーナー

カブトムシやクワガタムシなどの身近な生きものに触れ合える体験を実施した。

### (7) 常設展示「昆虫のすばらしい世界」

写真や図、生態展示や標本などを用いて、昆虫について基礎からわかりやすく解説した。

### (8) 映像シアター

里山で昆虫たちがどのように暮らしていて、どんな方法で観察するのかなどをわかりやすく解説した映像を上映した。

### (9) 昆虫おもしろ講座

名誉園長が、昆虫にまつわる話題などをスライドを交えてわかりやすく解説し、子どもたちの昆虫に関する疑問に対して直接回答した。

### (10) 別館プログラム

昆虫観察館別館では、昆虫標本を作製する「昆虫教室」や、季節の昆虫に関する絵本の読み聞かせや紙芝居などをする「むしのおはなし」を実施した。

### (11) 自然観察会

- ・ホテル観賞会（6月11日・18日 参加者2,638人）
- ・夜の雑木林の昆虫（7月30日 参加者626人）
- ・夜の鳴く虫（9月10日 参加者18人）

(12) 飼育講座

- ・ナナフシ飼育講座（5月5日 参加者130人）
- ・ノコギリクワガタ飼育講座（10月22日・30日 参加者234人）
- ・オオクワガタ飼育講座（11月19日・20日、26日・27日、12月3日・4日 参加者1,344人）

3 企画展等イベントの開催状況

NO	企画展等の概要	開催期日	期間中の入園者数(人)
1	季節展「虫たちの季節がやってきた！」 (早春編)	3月4日～4月24日	10,439
	同 (初夏編)	4月28日～7月3日	31,560
2	第13回企画展「蝶・Butterflies」	7月9日～8月28日	31,709
3	県民の日イベント	10月28日	1,924
4	季節展「秋の野山の昆虫展」	9月3日～10月30日	24,407
4	第11回「虫の絵」作品展	11月3日～12月25日	12,567
5	季節展「昆虫たちの冬越し展」	1月6日～2月26日	6,429
6	第11回「フォトコンテスト」作品展	1月6日～2月26日	6,429
7	季節展「虫たちの季節がやってきた！」 (早春編)	3月4日～4月23日	11,571

4 月別入園者数(人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6,172	15,607	12,617	14,377	19,111	7,327	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
17,080	7,812	4,755	2,764	3,665	6,663	117,950

※平成27年7月30日 110万人到達

5 保育所・幼稚園、小学校等の団体利用状況 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	保・幼稚園	小学校	中学校	高校	特別支援	合計
利用団体数	152	256	1	1	2	412
利用者総数	5,783	17,777	2	30	35	23,627

6 昆虫の森学校利用説明会の実施

ぐんま昆虫の森の学校利用を進めるため、県内の保育所・幼稚園及び小中学校等の教員を対象とした説明会を開催し、施設の活用方法や施設が提供している学習プログラムの紹介等を行った。平成28年度は、8回実施した。

・小中学校利用説明会

第1回7月21日、第2回7月22日、第3回7月28日、第4回7月29日、第5回8月18日、  
第6回8月19日 参加者計120人（53校）

・幼稚園・保育所利用説明会

第1回6月23日、第2回6月24日 参加者計10人（5園所）

## 7 昆虫の森・天文台自然学習教室事業の実施

県内市町村立小学校等が、ぐんま昆虫の森及びぐんま天文台において自然学習教室を実施した場合、それに要する経費（バス借上料）の一部を助成した。

区 分	事 業 内 容
市町村立小学校等	11市7町1村1学校法人 170校 12,424人 355台

## 第5節 ボランティアと協働した施設の運営

### 1 図書館ボランティア

図書館でのボランティア活動を希望する人々に対し、図書資料の配架、イベント時の補助等生涯学習の活動の場を提供するとともに、県民の参画による新しい図書館活動を展開し「明るく、開かれた、親しまれる図書館」づくりの促進を図った。

活動人員 一般99人、高校生28人 計127人

### 2 ぐんま天文台ボランティア

天文台では、来館者の誘導・案内、星座解説、自主企画イベントの計画と実施、周辺環境の整備を行うボランティアが活躍した。

活動人員 35人

### 3 ぐんま昆虫の森ボランティア

昆虫の森では、自然観察会や昆虫観察会、昆虫ふれあい温室等の案内やクラフト体験の指導、昆虫飼育等を行うボランティアが活躍した。

活動人員 114人 延べ活動日数 3,093日

### 4 生涯学習センターボランティア

生涯学習センターでは、館内ボランティアが、子育て支援及び少年科学館運営の2分野で活動を行った。

活動人員 延べ196人（子育て支援31人、少年科学館運営165人）

## 第2章 学習情報提供・相談体制の整備・充実

### 第1節 学習情報提供体制

#### 1 学習情報提供システムの運用

県民の生涯学習活動を支援するため、インターネットを利用した誰でも、いつでも、どこでも、必要な学習情報を容易に入手することができる群馬県生涯学習情報提供システム「まなびねっとぐんま」（インターネット方式）を平成12年6月20日から運用している。

平成21年4月1日から、会員登録した県民個人・県民の団体及び関係機関等が、自ら企画した講座・イベント情報や活動内容の発信ができるなど、より利便性の高い新システムに移行して運用を開始し、その普及・定着を図った。

情報提供分野及びデータ件数（平成28年度末現在）

提供分野	データ数	提供分野	リンク数
講座・イベント情報	2,421	ボランティア	5
うち県民カレッジ情報	337	女性支援	7
講師・人材情報	97	キャリア支援	11
団体情報	56	子育て支援	13
活動紹介	339	ぐんまの歴史	県教委制作
よい子のダイヤル	961	ぐんまの自然	県教委制作
おもしろ科学教室	138	合計	36
視聴覚教材・機材	5,212		
ぐんまの文化財	460		
合計	9,684		

年間アクセス件数：55,662件

会員別登録数（平成28年度末現在）

端末種類	登録会員数
業務会員	351
一般会員	98
団体会員	56
合計	505

### 第2節 学習相談体制

#### 1 学習相談室の運営

生涯学習センターに学習相談室を設置し、相談員により学習に関する相談に応じるとともに、「まなびねっとぐんま」の情報を検索できるパソコンや生涯学習関連図書・資料を整備し、県民や関係者の利用に供した。

相談件数：293件

関係図書・資料数：1,227点（閲覧用雑誌11誌・新刊図書28冊）

## 第3章 子ども読書活動推進

### 第1節 子ども読書活動の推進

#### 1 子ども読書活動推進計画

子ども（おおむね18歳以下の者をいう。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである。

しかし、近年、子どもの読書離れが指摘されており、読書に対する興味や関心を高めるための環境整備が求められていることから、「子どもの読書活動の推進に関する法律」などを踏まえ策定した「群馬県子ども読書活動推進計画（第三次）」に基づき、子どもの読書活動の推進を図っている。（計画期間（平成27～31年度）における目標設定及び達成状況）

##### (1) 1日当たり30分以上の読書をしている小中学生の割合の向上

区分	平成26年度 (基準年度)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成30年度 (目標年度)
小学校6年生	41.3%	40.6%	39.2%	50.0%
中学校3年生	34.8%	34.5%	31.5%	50.0%

※「全国学力・学習状況調査」（文部科学省）による。

##### (2) 市町村における子ども読書活動推進計画策定率の向上

区分 (自治体数)	平成26年度 (基準年度)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成31年度 (目標年度)
市 (12)	66.7% (8)	66.7% (8)	66.7% (8)	100.0% (12)
町村 (23)	56.5% (13)	60.9% (14)	69.6% (16)	100.0% (23)
市町村 (35)	60.0% (21)	62.9% (22)	68.6% (24)	100.0% (35)

※「都道府県及び市町村における子ども読書活動推進計画の策定状況調査」（文部科学省）による。

##### (3) 公立図書館と連携している小・中学校の割合の向上

区分	平成24年度 (基準年度)	平成26年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成30年度 (目標年度)
小学校	53.2%	60.6%	63.3%	60.0%
中学校	32.3%	27.1%	35.2%	50.0%

※「学校図書館の現状に関する調査」（文部科学省）による。

#### 2 群馬県子ども朗読大会の開催

子どもの読書活動の推進を図るため、声を出す読書である朗読等の発表の場として群馬県子ども朗読大会を開催した。

日 時 12月17日（土） 13:00～16:30

場 所 生涯学習センター

応募者数 190人（小・低学年52人、小・高学年47人、中学生91人）

出場者 24人（小・低学年8人、小・高学年8人、中学生8人）

表彰 各部門ごとに最優秀賞1名、優秀賞2名、奨励賞5名を表彰

#### 3 県立図書館における取組

県立図書館において、児童図書の実備とあわせて図書館こどもまつり、学校図書館関係者実務研修会、学校図書館図書支援1000冊プラン、学習支援・朝の読書推進図書セットの貸出し等を実施した（第1章・第1節・4事業概要・(1)子ども読書活動推進事業参照）。

#### 4 その他の関連事業

(1) 優良図書館群馬県教育委員会表彰

社会教育の中核施設である図書館の充実振興を図るため、その運営が地域社会の繁栄と住民の生活文化の向上に顕著な実績をあげている図書館を優良図書館として表彰した。

○平成28年度受賞館：富岡市立図書館

(2) 群馬県読み聞かせボランティア顕彰

地域における子どもの読書活動への貢献が顕著なボランティアを顕彰し、その熱意と努力に報いるとともに、広く県下に紹介することによって、子どもの読書活動推進の振興を図った。

○平成28年度受賞団体

- ・粕川小学校 さくらんぼの会（前橋市）
- ・館林市立第六小学校読み聞かせボランティア よみうさぎ（館林市）
- ・乗附公民館図書ボランティア（高崎市）
- ・ユウカリの会（邑楽町）
- ・お父さんの読み聞かせボランティアグループ かたつむりの会（大泉町）

(3) 子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）表彰（文部科学大臣表彰）

「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年12月12日）の制定を受け、平成14年度から文部科学大臣が子どもの読書を推進する活動が顕著で優秀と認められる学校、図書館、団体（個人）を表彰しており、平成28年度においては、本県から、学校3校、図書館1館、及び1団体が表彰された。

○平成28年度受賞校、図書館、団体

- ・前橋市立朝倉小学校
- ・高崎市立新高尾小学校
- ・群馬県立太田高等学校
- ・伊勢崎市図書館
- ・にじの会（伊勢崎市）